



Q1

あなたの職種について教えてください。

私の職場の任務は、対空戦闘を行うことです。そのためには、任務遂行に必要不可欠な近SAMという車両及び武器を装備しています。近SAMが如何なる時も確実に作動するように整備を実施し、射撃に必要な操法（動かし方）を学びながら、毎日仕事をしています。

Q2

入隊して良かったと感じたことは？

私は18才で社会に出たため、社会人としてのモラル、礼儀、気遣い等が出来ていなかったのですが、入隊後、社会人として必要なことを学ぶことが出来ました。

学生時代の友人と比べてみても、周りの人から「さすが自衛官」と言われることも多々あります。それはやはり、上下関係というものを先輩から後輩へと引き継がれて教えられているからだと思います。

そして何より、この1年間仕事をしていく中で、同期の大切さが分かりました。今この同期との助け合い、支えが無かつたら、本当につらい時を乗り越えることができなかっただと思います。



先輩から教えてもらっています。

階級

1等陸士

出身地（都道府県）

岐阜県中津川市

出身校（中・高）

岐阜県立坂下高等学校

入隊（募集）種目

一般 2士

入隊年月

平成21年4月3日

職種

高射特科

※所属・階級は平成22年7月現在



現在庶務係として臨時勤務中

Q3

では逆に、これまで大変だったことは？

戦闘訓練や行軍など、初めて行うことばかりでつらいと思うときもありました。

ですが、前期及び後期教育の同期と励まし合いながら行うことができたため、最後には「つらい」ではなく達成感、充実感に満ち、訓練終了後には「楽しかった」と振り返ることができました。

Q4

女性隊員ならではのエピソードを教えてください。

苦労する点は…演習中のトイレ。男の人に比べてどうしても時間がかかるてしまうので。よかったと思ったことは、前期教育は女子のみの教育なのですが、後期教育は男女一緒にになります。そのときに、女だからと特別扱いされることなく、男女同じように扱われたことです。

Q5

最後に、入隊を考えている方々に一言お願いします！

入隊を考えている皆さん、私はまだ1年という短い期間しかいませんが、この少しの時間の中で先輩からたくさんのこと学びました。きっと自衛隊に入隊していなかったら知ることはできないことばかりです。

自衛隊でしか経験できないことはたくさんあるので、もっともっと色んな人に経験してほしいと思います。自分の力を引き出し、伸ばしていくので、入隊して損をすることはないです。皆さんの入隊を心からお待ちしています。

ご協力ありがとうございました。